

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 アクティブライフ三瓶

(ユニット名) 2階

記入者(管理者)
氏名 菊池 香代

評価完了日 平成 20 年 3 月 31 日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 開設時に職員全員にアンケートを実施し、してほしい介護・してほしくない介護などいくつかの問いについて考えてもらい、そのアンケート結果を基に理念を作り、見やすい場所に掲示している。		
			(外部評価) 日々、外出の機会を作り、地域とかかわることを大切にしていきたいという思いで、理念を作りあげておられる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 入居者との関わりに重点を置き、掃除・洗濯・調理等「出来る事」が維持できるように心がけている。また、外出の機会を少しでも多く作りたいために、食材の買出しは毎日行くようにしている。		
			(外部評価) ミーティングや申し送り時、又、利用者とのかかわりについての振り返り時にも、理念に沿ったケアが行われているか確認し合うようにされている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価) 理念はホーム内の見やすい場所に掲示し、ご家族にはどのようにして理念が出来たかの説明と一緒に文書でお渡ししている。また、地域の方には運営推進会議の際に同じ説明を行っている。実際のホームでの取り組みは広報誌や月に一度郵送しているホーム便りにてお伝えしている。		現在も出来る範囲で地域の行事には参加しているが、今後も出来る限り地域への行事に参加し、ご理解していただけるよう交流を深めていきたい。ホーム内でも地域の方々を招いた行事も検討している。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 回覧板をまわしていただいている。買い物や散髪等は近隣のお店を利用し、出会った方にはこちらから声をかけるようにしている。ホームの畑作りをした際には、近くの畑で作業されていた地域の方にいろいろと教えていただいた。		施設が出来たというのはご存知でも、どのようなことをしているのか・・・というご理解はまだまだなので、地域の方々にホームを知っていただけるような取り組みをしていきたい。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 回覧板や運営推進会議で区長さんに教えていただいた地域行事には出来る範囲で参加している。(盆踊り・町民運動会・清掃活動など)また、ホームの行事に保育園や幼稚園の園児を招いたり、小学校との交流やボランティアの受け入れ等も行っている。		老人会の方とも交流を深め、地域との交流を少しずつ拡大していきたい。
			(外部評価) 利用者、職員もほとんどが町内の方であり、買い物や散歩時、又、地域の行事に参加した際にも顔見知りの方によく出られる。町内会に加入し、回覧板を回したり、清掃作業に参加されている。		地域の方にも事業所に来ていただけるよう、ホーム内での行事を検討されている。地域の方からの介護相談もお受けしたいと考えておられる。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 地域の清掃活動には参加している。川掃除など、地域の方々も高齢者が多いため、職員の参加を喜んでいただけました。		今後もお役に立てる事があればスタッフ会で話し合い、取り組んでいきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 今回、初めての自己評価で、改めて現在のホームを見直す事が出来、現在のホームの課題や、よりよくなるための課題を明確にすることが出来た。改善できることは取り組んでいる。		
			(外部評価) 評価項目を分けて職員で自己評価に取り組み、各ユニットの責任者でまとめられた。職員は、自己評価作成に当たり、日々のケアについて振り返られた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 2ヶ月に一度運営推進会議を開催し、ホームの運営状況を報告し、意見交換している。自己評価や外部評価についても説明を行い、課題解決の為の意見交換を行った。会議の内容は、議事録にまとめ掲示し、職員には申し送り等でも伝達している。		区長さんから地域行事等の情報提供をしていただいている。地域の方々へも声かけをしていただいております。地域行事へも参加することが出来ている。今後も有意義な意見交換の場となるように取り組んでいきたい。
			(外部評価) 地区長の方の計らいで、町民運動会では、一番前に席を準備していただき、利用者は、楽しみに参加をされた。又、地区の行事にはその都度案内をいただき参加をされている。		ご家族にも運営推進会議開催の目的等についてより知っていただき、意見等を出していただきたいと考えておられた。又、いろいろな立場の方の参加を呼びかけ、意見をいただきたいと考えておられた。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議の案内文書も郵送ではなく毎回直接持って行くようにしており、機会があれば連絡をとるようにしているが、必要な時以外は連絡がとれていない。		案内文書や書類の手続きに行く機会を活用し、積極的に意見交換をするように努める。
			(外部評価) 担当窓口に足を運び、ボランティアの方の情報や町民運動会の情報をいただいている。事業所では、相談員の受け入れをされており、利用者と相談員の方の会話の中から利用者の新たな情報を知ることもある。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 現在ホームで制度を利用している方がいないため、制度について勉強会等を実施していない。		管理者だけでなく、職員も理解出来るよう機会を作り、制度の理解に努めたい。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 新聞等で記事が掲載された時には連絡ノートに貼り、介護方法について話し合うようにしている。日々の申し送りでも対応については話し合うようにし、ストレスが溜まらないように気をつけている。		虐待防止関連法についても理解を深めていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約は、ゆっくりと時間をとって説明を行っている。その際、心配な所や気をつけてほしい所等こちらから尋ねるようにしており、話しやすい雰囲気を作るよう心がけている。また、不明な点については、いつでもご相談していただくように説明している。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 開設時より、利用者と職員は話しやすい雰囲気作りを心がけ、利用者から出た意見等は些細な事でも日々の申し送りや連絡ノートで共有し解決出来るようにしている。必要な時には時間をとり、居室で話を聞く機会を作っている。また、介護相談員の方が来所された時には、話しやすい雰囲気を作るようにしている。		利用者からの意見・不満・苦情については迅速に対応していきたい。住みやすいホームとなるよう職員との話し合いも引き続き継続していく。
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 利用者の暮らしの様子が少しでも分かるように、月に一度、写真と一緒に状態をお伝えするお便りと運営状況を報告する文書を郵送している。職員の異動の際には写真付で紹介文を作りお伝えしている。また、面会の際に近況報告をしたり、必要な場合には状況に合わせて随時連絡をとり、報告や相談をするようにしている。		金銭管理については、購入する際にご家族に相談をしてから購入しているが、月々の使用状況が分かる物を作成し、報告出来るようにしていければと検討している。
			(外部評価) ホーム便りに、写真とともに行事や日頃の様子を載せておられる。又、来月の予定も知らせておられる。		今後、運営推進会議の内容や評価結果を報告する予定となっていた。
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 契約の際にホーム及び外部の窓口については説明を行っている。また、面会の際にはこちらから声をかけるようにし、意見交換の場としている。ご意見等があった場合には全体で共有し運営に反映出来るようにしている。苦情については書類に残すようにしている。		意見箱を設置したり、定期的にアンケートを実施する等、ご家族からの意見が少しでも引き出せるように工夫していきたい。
			(外部評価) ご家族へのアンケートを実施し、事業所での暮らしの希望や意見をいただけるよう取り組まれている。		事業所では、今後、家族会の開催も検討されている。ご家族同士の交流の場としても参加を募っていきたくと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月に一度のスタッフミーティングや日々の申し送り等で意見交換している。まずは「試してみる」という取り組みをしており、形にとらわれないように意見や提案を反映させている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 利用者やご家族の状況の変化や必要に応じて適宜、話し合いをし、勤務調整を行い出来る範囲で要望に対応出来るようにしている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 利用者へのダメージを防ぐため、異動があれば、職員全員で統一した見解を持ち、必要最小限に抑える努力をし配慮している。 (外部評価) 職員の異動時には、利用者に配慮した声かけに努めておられる。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) ホーム内でも勉強会を実施しているが、法人内では、付帯施設の勉強会を毎月行っている。また、法人外の研修にも機会があれば参加出来るように研修案内を配布し、参加をすすめている。 (外部評価) 毎月の法人内の介護、看護の研修には、職員は交代で参加されている。研修内容を、毎月のスタッフ会で報告されている。		さらに、職員の段階に応じた研修を受講できるような取り組みも期待される。職員のさらなるスキルアップからも、事業所の質の向上を目指していかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			町内のグループホームとは互に見学をし合う所までは交流できているが、行事への参加や勉強会の開催までには至っていない。法人内の事業所とは交流会や勉強会を実施し、意見交換や情報交換をしている。		見学時には意見交換できたが、より交流を深める為にもホームの行事に参加していただいたり、相互の活動を通じて質の向上に繋がる取り組みを考えていきたい。職員にも参加をすすめていきたい。
			(外部評価)		
			法人内の事業所の交流や市内のグループホーム連絡会等に参加されている。		町内の事業所とともに行事を行う等、さらに交流を図りたいと考えておられた。
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			必要な場合には時間をとり、ストレスを抱え込まないように話をする機会を作っている。職場以外でも親睦会を行うなど、ストレスを発散出来る機会を作るようにしている。		定期的に親睦を図り、職員同士が互いに話しやすい・働きやすい環境となるようにしていきたい。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			職員一人一人に担当業務を振り分け、責任を持って取り組んでもらっている。ホーム内で二ヶ月に一度勉強会を実施している。		得意分野が職場で活かせるようにしていきたい。また、個人への負担が大きくなるように役割分担し、職員一人一人が出来る事を拡大していく。
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			入居前の診察には可能な限り立会っている。事前に利用者と顔合わせを行う事で少しでも入居がスムーズに行われるよう配慮し、困っている事や不安に思っている事等ご本人から聴く機会を作っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) ご家族に対しても、入居前の診察時に顔合わせをし、現在の生活の様子や心配な点について事前に様子を聴かせて頂く様になっている。事前に見学をしていただき、ホームの様子を説明している。		ご家族の不安や思いを話し合える機会を増やす。(家族会等の開催)情報はスタッフ全員で共有していく。
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人にとって、どのような対応がベストであるかという事を常に意識しながら支援している。		他のサービスで改善することがあれば提案し、選択していただくよう対応していきたい。
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 利用者の状態に合わせ、かかりつけの病院をそのまま様子を見たり、散髪・通院に関しては出来る範囲で今まで利用していた場所へ行けるようご家族にも協力していただいている。 (外部評価) ご自宅から入居される方が多く、共同生活に慣れていないような方もおられるが、地元で以前から顔見知りの方もおられ、食事の際の席をお隣にする等、関係を作りゆっくりと慣れていただけるよう配慮をされている。		入所前にこちらから面談に行き、安心していただけるよう努める。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 些細な事でも一緒に作業を行いながらの共同生活を意識している。 (外部評価) ご自分ではむづかしいと思われていたお寺参りに、ご自分が歩いて出かけることができたことがきっかけになり、事業所の掃除等を行ってくださるようになり、活動的になられたような方もおられる。		職員全員が認知症についてやグループホームでの過ごし方を理解出来るようにしていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 利用者の状況などをこまめに報告し、相談しながらご家族にも協力していただきながら支援している。		行事への案内はしているが、参加には至っていない為、参加していただけるように工夫していく。
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 過去を理解したうえで、どこまで関わるべきなのかを常に考えながら接するようにしている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 昔の思い出話を引き出し、行きたい所へ出かけたり、行きつけの散髪屋に行けるよう支援している。		本人の希望に添えるように時間を作り会いたい人との面会の場を設けていきたい。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 食事の声掛けや洗濯物を届ける際等、利用者間で行える事はなるべく手を出さないように意識している。		利用者同士の関わりを大切にしながら支援していきたい。
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 契約が終了してもお会いすれば挨拶をしたり、しばらくはお手紙や電話で近況を伺ったりしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々の関わりの中で得た情報やご家族から伺ったことをもとに暮らし方の希望や意向を聞き入れ、スタッフに伝達し、そえるよう心がけている。		
			(外部評価) 会話の中のご本人の言葉をそのまま記入し、思いの把握に努めておられる。職員のアイデアで、利用者の生活パターンが分かるような記録を作成し、個々の把握に努めておられる。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) これまでの生活の様子や生活環境については事前の検診の際や契約時にお話を聞かせていただき把握に努めている。馴染みの物(食器、家具等)の持ち込みも自由に行えるよう支援している。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 毎日バイタル測定を行い、日々の状態や様子については個人別に介護記録に記入している。職員は毎日の申し送り把握に努めている。		昔されていたことや得意なこと等を本人のニーズに合った暮らしが出来るようにしていきたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 介護計画書を作成し、三ヶ月に一度見直しを行っている。月に一度のスタッフミーティングではカンファレンスを行い、方向性を統一出来る様話し合う機会を作っている。ご家族にはアンケートを実施し、ご意見を伺うようにしている。		面会の際等に相談しているが、十分な説明は出来ない為、今後はご家族を交えた話し合いの場を作ったり、参加が難しい場合には郵送する等取組みを検討したい。
			(外部評価) ご本人やご家族の言葉、日々の利用者とのかかわりの中での職員の気付きを毎月のスタッフ会で話し合い、介護計画を作成しておられる。		今後、ご家族とご本人の暮らしと介護について話し合い、介護計画を作成していきたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			三ヶ月に一度の見直しまでに変化が生じた場合には介護計画の見直しを行い、現状に即して計画を作成している。		状態の報告と共に介護計画書に印鑑をもらうようにする。また、職員も確認したら印鑑を押す等把握に努める。
			(外部評価)		
			3か月に1回の見直しを行うようにされている。状態に変化があるような場合、見直しを行っておられる。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			日々の様子や実践した事、その結果や気づきについては個別記録に記入し、日々の申し送りや連絡ノートを活用し情報の共有や介護計画の見直しに活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			病院受診や散髪・外出など、その時の状況に応じて、ご家族と連絡をとり、相談しながら柔軟に対応している。事業所だけでなく、ご家族にも出来る範囲での協力依頼はお願いしている。		
			(外部評価)		
			職員は、利用者のご自宅に掃除や、荷物を取りに同行されたり、美容室に出かける際にも付き添っておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 体操や演奏会等ボランティアの受け入れは積極的に行っている。職場体験実習や人権の花の贈呈式もあり利用者の方にも喜んでいただいた。また、消防署も近隣に位置し、防火訓練時には協力を得ている。		地域の協力を仰ぐだけでなく、今後はホームから地域に向けての取り組みを考えたい。
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) お部屋の空き状況等、地域のケアマネジャーと連絡をとり、報告するようにしている。また、必要に応じて他のサービス事業者と連絡を取り合い、他のサービスを利用するための支援を出来る限り行っている。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 現在のところ、事例はないが母体の窓口を通しての関わりを持っている。		本人の意向や必要性に応じて地域包括と協働していきたい。
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人及びご家族の希望を大切に、入居前にはかかりつけ医について相談するようにしている。希望があれば他の病院にも受診できるよう支援している。 (外部評価) ご家族と相談し、希望をお聞きしながら、対応している。往診に来られた医師に、利用者ご本人が、直接お願いをされ、かかりつけ医を変更された方もある。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 母体が病院であるため専門医による診断や治療が可能である。日々の状態についてはホームの主治医から母体の方へも報告されており協力医療機関とも連携がとれている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 母体の看護師と医療連携をとっている。月に2回訪問していただき、利用者の身体状況を報告し、相談している。また、看護師は同じ地域に住んでおり、必要な時には24時間いつでも連絡がとれる体制をとっている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入退院時には情報交換を行っている。入院先にも定期的に顔を出し、利用者が安心して過ごせるように配慮している。病院関係者の窓口とも連絡を取り合い、入院後も早期退院に向けて相談するようにしている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 利用者の状態については、ご家族と主治医に報告を行い相談するようにしている。必要な場合には主治医からご家族に説明をさせていただいている。 (外部評価) 入居時、事業所の看取りの指針についてご家族に説明をされている。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 利用者がより良く過ごせる為にホームで「出来る事・出来ない事」については見極めをし、市町村へも確認をしながら主治医とも相談し、医療連携の看護師とともにチームとして支援に取り組んでいる。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 出来る限り入居前の健康診断に立会い、利用者及びご家族と事前に顔合わせを行うようにしている。関係者間での情報交換にも努め、少しでも住み替えのダメージを防ぐ為、それまで使用していた使いなれた物を持参していただくようすすめている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価)</p> <p>記録等の個人情報の取り扱いについては、入居時に同意書をいただいている。職員に対しては日々の申し送りやスタッフ会でも繰り返し伝達し、十分注意している。また、無理強いすることなく生活していただくようにしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>職員は、利用者に対してやさしく対応されていた。利用者が行方不明になった時に即対応できるように、利用者個々の顔写真と、特徴を書いたものを準備しておられる。</p>		
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>言葉遣いや語調に気をつけ、本人の思いや希望を自由に話せるように支援している。</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>職員のペースで強引に進めてしまうことがある。</p> <p>(外部評価)</p> <p>利用者に希望を聞きながら、買い物に出かけておられる。出かけた際に購入した植木を、居室で大切に育てておられる方もうかがえた。</p>		<p>利用者が主体である為、一人ひとりのペースを大切にし、希望にそった支援が出来るよう勉強会を実施し、人材育成に努めたい。</p> <p>現在、利用者から希望等が出されることが少ないようであるが、利用者個々がその日をどのように過ごしたいか探りながら、支援を工夫していかれることが期待される。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 入居の契約時に今まで利用していた理・美容を尋ねるようにしており、ご家族のご協力のもと、出来る限り希望の店へ行けるように努めている。また、衣服については本人の好みで選んでいただいている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 担当者を中心に偏りがなく季節感のある献立となるよう心がけている。また、食事の準備や後片付けは毎日声掛けし、一緒に行うようにしている。一人ひとりの嚙下状態に応じて食事形態(お粥・きざみ・)など工夫している。 (外部評価) 毎日、食材の買い物に出かけ、利用者に食材を選んでもらったり、料理のアドバイスももらったりされている。誕生日には、本人のお好きなものを用意されている。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) その都度好みの飲み物を聴き、希望にそえるようにしている。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 一人ひとりの排泄パターンを把握し、必要な方には状態に応じて水分摂取量と排泄状況をチェック表にて観察している。オムツを外せる方は外し、トイレで排泄出来るよう支援している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
				3日に1回は入浴が出来るよう一人ひとりの希望に沿って実施している。お湯の温度や入浴剤の使用等、利用者の要望に応え、全身観察が出来るので皮膚疾患等の早期発見に努めている。状態に合わせて低刺激の石鹸を使用している。	
			(外部評価)		
					利用者の希望を聞きながら入浴の支援を行っている。
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
				その日の状況や体調に合わせて、必要な時には休息をとりながら過ごしていただいている。快適に過ごせるよう室温にも配慮し、冬場は乾燥しないよう加湿器を使用している。	
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
				一人ひとりの生活歴を参考にし、畑作りや編み物等趣味の継続が出来るよう支援している。日々の生活の中でも出来る事は一緒に行うようにしている。	
			(外部評価)		
					仏壇にお茶を毎日供えられたり、朝の体操、散歩、編み物、畑仕事等されている。モップで掃除をする方もおられる。手作りのマラカスを使って体操もされている。
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
				所持金についてはご本人やご家族の希望に沿って対応している。ご自分で管理される方、ホームでお預かりする方とさまざまである。毎日の買い物の際や外出時等いつでも使えるよう支援している。	

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 食材の買い物は毎日近くのスーパーを利用しており、利用者をお誘いするようにしている。また、回覧板の配達や散歩のお誘いをし、希望があれば一緒に出かけるようにしている。 (外部評価) 売り出しの商品を買いに協力していただきたいことを伝え、「それじゃあ」と腰を上げてくださる方もある。事業所のあるコンビニにおやつを買いに行かれる方もいる。		ごみ捨てや花の水やり等、温かい時期には一緒に行い、外出する機会を増やしたい。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 全員で外出が出来るよう定期的に計画を立て、行き先については利用者の希望に添えるようにしている。利用者のご家族とが外出される事もあり、希望時には積極的に支援している。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 本人から電話の希望があった場合にはいつでも対応している。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 面会時には少しでもゆっくりしていただけるようお茶をお出しし、利用者の居室やリビングで会話ができるようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束はしていない。		身体拘束について理解はしているが、再度どのような事例があるのか、全員で勉強会を実施し、身体拘束をしないケアの継続に努めたい。
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) スタッフ会等で鍵をかけないケアについて話しをし、職員全員が理解しており、夜間以外は鍵をかけていない。また、玄関はチャイムが鳴るように工夫されている。帰宅願望がある方とは一緒に外を歩いたり買い物をするなどで気分転換を図ったり役割を持っていただく等工夫している。近くのコンビニや消防署にもご理解と協力をお願いをしている。		
			(外部評価) 気ままに出かけられる方に、職員は、無理に止めることなく一緒に歩かれたり、さりげなく後から見守る等されている。又、ご近所のコンビニや消防署の方にも、ホームの住所と連絡先を知らせて、連絡をもらえるようお願いされている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 職員は24時間体制で利用者の見守りをし、所在や状態を把握すると共に安全には十分配慮し、見守りしやすい位置で記録するよう心がけている。		引き続き転倒等、事故には十分に注意し、事故発生時にはご家族への報告をしっかりとしていきたい。
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 内服薬に関してはホームで管理をしている。その他の物品に関しては一人ひとりの状態に応じて必要な物は管理するようにしている。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 防火訓練は年に2回実施しており、消防署の方にも来ていただいている。行方不明者が出た場合の緊急連絡網や近隣への協力依頼はお願いしている。また、ひやり・ハット報告書を作成し、月に一度のスタッフ会の場で全員で把握し事故防止に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 緊急時の連絡先やマニュアルを作成し、明確にしている。連携している看護師に勉強会も実施してもらっているが定期的には行えていない。		急変などは日常的にない対応であるため、定期的に訓練や勉強会を実施し、全ての職員が対応出来るようにしていきたい。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 10月に防災訓練を実施し利用者にも参加していただいている。次回は4月に予定しており年に2回は実施するよう計画している。また、訓練には消防署の方にも来ていただき、指導を受けている。マニュアルも作成し、運用している。 (外部評価) 防災訓練を行う際に、消防署の方に避難経路の確認をもらった。		今後も年に2回の防災訓練の実施と地域の人々の協力が得られるように働きかけをしていきたい。 運営推進会議時、地域の方達の協力をお願いしたいと考えておられる。又、訓練には職員も全員が参加できるよう計画を立てておられた。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 入居契約時に説明を行っている。また、利用者の状態に応じてご家族に説明をし、相談しながら対応策については話し合うようにしている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎日バイタル測定・食事量・排泄チェックを行い、日々の状態や様子については個人別に介護記録に記入している。職員は毎日の申し送りで把握に努め、また、異常があれば主治医に報告している。		連絡ノートを活用し、情報の共有に努めたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 一人ひとりの薬情を介護記録に添付し、情報を共有出来るようにしている。また、内服薬はすべて個人別に管理し、職員で管理している。		薬の服用管理など職員が共通理解し薬についての知識を高めていきたい。
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かさず働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 排便チェック表にて把握し、食事・運動・水分補給等さまざまな面から支援している。また、日中は毎日ラジオ体操を実施。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後に口腔ケアを実施している。必要な方には義歯の洗い直し等お手伝いし清潔に保てるよう支援している。また、週に一度は洗剤を使用し、義歯及び歯ブラシやコップ類も消毒を行っている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事以外にも10時・15時・19時と水分補給を行っている。また、希望時や外出時、入浴後等必要に応じて水分補給し、摂取状況に応じて声掛けや介助を行っている。 (外部評価) 白湯とお茶をいつでも飲めるよう準備されていた。食事には、汁物を必ず付けるようにされている。又、体調等、必要に応じて、水分の摂取量を記録されている。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) インフルエンザ・疥癬・肝炎・MRSA・ノロウイルスについてはマニュアルを作成し、インフルエンザとノロウイルスに関しては勉強会を実施。利用者・職員・面会者には感染予防の協力を文書で掲示し、手洗い・うがい・消毒等予防に努めている。		マニュアルを活用し、まだ実施できていない感染症についての勉強会を実施していきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>食材は、毎日近所のスーパーで購入し新鮮な食材を使用している。ふきんやまな板等毎日使用する物はハイターで消毒し、調理用具は乾燥機を使用している。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>玄関には季節の花や観葉植物を置き、飾り等で季節感のある雰囲気作りを心がけている。建物の周囲にもプランターを並べ、少しでも親しみやすくなるよう工夫している。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>季節の花を飾ったり、共用空間には季節感のある飾りや観葉植物を飾り、居心地よく過ごせるよう工夫している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居間には、五月人形を飾っておられた。外出した際の写真や利用者の手作り作品も飾っておられる。</p>		<p>利用者の作品等も展示していきたい。</p>
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>気の合う利用者同士できるだけ近くの席に座って会話を楽しんでいただけるようにしている。時には職員が間に入り、コミュニケーションが図れるよう支援している。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			本人やご家族と相談しながら、ご希望に応じて対応している。食器類や布団、衣装ケース等使い慣れた物を持って来ていただいたり、趣味や好みに応じた物を持って来ていただいている。		利用者のこれまでの生活状況に合わせ、柔軟に対応していきたい。
			(外部評価)		
			自宅からさつきの盆栽を持ち込まれ、居室で手入れをされている方や、好きな歌手のポスターを貼っておられ方もうかがえた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			室温は季節に合わせて外気温と大きな差にならないように配慮しながら適宜温度調節している。冬場は乾燥予防の為に加湿器を使用。また、匂いに対しては芳香剤を使用している。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			フロア内はバリアフリーで必要な箇所には手すりが設置されている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			表札や表示等を用いて混乱しないように工夫している。		
87		建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			庭に畑を作り、野菜や花と一緒に育てている。収穫も一緒に行い食材として利用している。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者の ② 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	新しく入居された方数名の意向がまだ分からないが以前から入居されている方については訴えがあればすぐに対応している。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	職員が余裕を持って業務に取り組むように心がけており、水分補給の時間には一緒に談話するようにしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員が無理強いことなく個々のペースで暮らせている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員が利用者の出来ること、以前しておられた事を把握する事によって適切な支援をすることができ、喜ばれている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	希望がある場合は出来る限り対応しているが、特定の方しか外出されていない。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	毎日、バイタル測定を行い、状態観察をしている。主治医への報告も毎日行っており、異常があればすぐに主治医及び連携看護師と連絡がとれる体制となっている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の方との談話の時間を持つ事で、職員に要望を伝えやすい環境であり、そのときに納得できるような柔軟な対応をしている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	新しく入居された方が多く、全ての家族とは言えないが、面会の際等には生活の様子をお伝えしご家族の意向や相談事を気軽に話していただける環境である。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 ③ たまに 4 ほとんどない	ご家族や知人、親戚の方の面会もあり、地域の方もボランティアの方が来られ体操や演奏会を行っている。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② 1 大いに増えている ② 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	地域行事へ参加する際には、区長さんをはじめ地域の方々にはあたたかく受け入れていただいている。
98	職員は、生き活きと働けている (自己評価) ② 1 ほぼ全ての職員が ② 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員間の連携がうまくいかない点もあるが、利用者の方とはよく会話し笑うことが多い。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② 1 ほぼ全ての利用者が ② 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	おおむね満足されていると思うが、一人ひとりの関わりに個人差もあるので不十分な部分もあると思われる。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② 1 ほぼ全ての家族等が ② 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	利用者の状態やホームでの活動を新聞やお手紙等で伝えており、面会に来られた際には喜びの声を聴くことも多い。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

ホームに閉じこもることなく、外出する機会を多く作りたいと考え、食材の買い物は毎日行くようにしている。安全面を考慮し、買い物は各階一緒に行くようにし、安心して外出できる体制をとっている。また、開設当初より、回覧板をまわしていただき、出来る限り地域行事にも参加するようにしている。日々の生活の中でも職員は手や口を出し過ぎないように気をつけ、何事も一緒に行う事を念頭に業務に取り組んでいる。